



有明高専だより 第164号

2023. 11



ハンドボール 男子



バスケットボール 女子



クラスマッチ



華道 審査中



硬式野球競技



弓道 女子個人

- 学生の活躍・・・1～2
- 入試広報関係・・・3
- 産学官連携関係・・・4
- 学生会だより・・・5
- 地区高専体育大会・・・6

目次

- 全国高専体育大会・・・7
- エコラン・花の甲子園・・・8
- 寮だより・・・9
- 国際交流関係・・・10～11
- インターシップ報告・・・12～13

学生の活躍

事業性を含めた提案により空き家を再生

建築コース 教員 森田 健太郎

建築学専攻の専攻科1・2年生が前期で取り組む建築設計特別演習I・IIの最終成果発表会を学外にて実施しました。今年度の演習課題は、まちなかにある空き家を再生し、エリアに賑わいをもたらす提案を求めるものであり、従来の設計演習における空間提案だけでなく、その事業性も含めて検討することを求めていることが特徴です。

発表会は、イノベーション創出拠点として整備されたaurea（旧商工会館）のイベントスペースで行いました。会場には20名以上の学外からの参加者がいたため、各チーム、たくさんの意見や感想を聞かせてもらうことができ、大変貴重な機会となりました。

今後は、学生らの提案を基に建築物の所有者である吉浦隆紀氏（吉浦ビル）が事業を展開していく予定で、引き続き協力関係を築きながら実現までのプロセスを学んでいきたいと思っています。



市民から感想を聞く学生

化学工学会九州支部第33回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会にて優秀発表賞を受賞

応用化学／環境生命コース 教員 大河平 紀司

2023年7月に開催された化学工学会九州支部第33回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会にて、専攻科物質工学専攻2年生の平川琉偉さんが優秀発表賞を受賞しました。特定のウイルスのみを認識・捕捉する抗体をポリマーブラシに固定化することで、高効率にウイルスを濃縮可能な有用材料として利用するための基盤研究です。新型コロナウイルスをはじめ、様々なウイルスに対して適用可能であり、たとえば下水道サーベイランス等での高効率ウイルス濃縮の実現や、イムノクロマトグラフィーにおけるウイルスまたは抗体検出の高感度に貢献する内容になります。

また、大学生・大学院生も発表する中、本校専攻科生の受賞は快挙となります。

なお、本研究は公益財団法人 柿原科学技術研究財団の研究助成を受けて実施しています。



八木校長、担当教員（大河平教授）と記念撮影

ISIE2023口頭発表で3位受賞

生産情報システム工学専攻 1年 福田 旺土

私は、9月にマレーシアペトロナス工科大学（UTP）開催されたISIE2023（International Symposium on Innovative Engineering 2023）で発表しました。

本研究室は、光電子制御プラズマCVD装置（PA-PECVD：Photoemission Assisted Plasma Enhanced CVD）を用いて、グラフェンの改質やダイヤモンドライクカーボンの成膜・評価を行っています。グラフェンは優れた特性を持っており、次世代のエレクトロニクス材料として知られています。これらの特性を改善、または新たな特性を発現させるために、光電子制御プラズマCVD装置による光電子制御タウゼント放電（PATD）プラズマを利用しています。PATDプラズマは、シース電界を形成せず、イオンダメージを防ぐことができるため、グラフェンのような極薄膜材料に対する有効な改質手段として、期待をもって研究を進めています。国際学会に登壇の機会を与えてくださったこと以外にも、SPring-8での実験など、貴重な体験をたくさん経験させてもらいました。今回、賞をいただいたことは鷹林先生をはじめ多くの教授や研究室の仲間の協力の賜物だと感じております。

結果は3位でした。今後も研究を続け、グラフェンに対するさらなるアプローチを見出していきたいと考えています。



口頭発表の様子

第24回高校生国際美術展奨励賞受賞

創造工学科 2年 境 千広

今回、高校生国際美術展で奨励賞を頂くことができとても嬉しく思います。作品のタイトルは「妹」です。作品中央の女の子が妹です。他には錦鯉、友達と自分が好きな花、鬼瓦、月を描きました。初めてこの絵を見る人にとっては不思議な組み合わせだと思いますが、私が見たり描いたりすることが好きなものを詰め込んだ作品です。金と銀を入れているので見る角度を変えるときらきらと光る部分があります。コントラストを強くし迫力がある作品を意識して描きました。



奨励賞受賞の賞状と筆者

陸上インターハイ出場

情報システムコース 3年 浦崎 華瑠

私は8月に開催された令和5年度全国高等学校総合体育大会（北海道インターハイ）の第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会に3000mSC九州地区代表で出場しました。3000mSCは3000mを走的过程中で28台の障害と7台の水濠を飛び越え、タイムを競う競技です。予選会と学校の試験が重なったり、怪我をしたりなど、とても苦労しましたが、一緒に練習をしてくれたチームメイトやサポートしてくれたマネージャー、顧問の先生方の協力のおかげでなんとか本番に臨むことができました。結果は予選敗退と悔しい思いをしましたが、自分にとってとてもいい経験になりました。この経験を活かして今後の大会でもいい結果が残せるように努力していこうと思います。



インターハイ出場を決めた地区予選の賞状と筆者

学生と教職員が協力してつくるFM番組「What's up★有明高専」

メカニクスコース 教員 篠崎 烈

毎月第1、第3金曜日の19:00～19:15に、地元のFM放送局「FMたんと」から有明高専の番組が流れてきます。「What's up★有明高専」、皆さんも聴いたことありますか？この番組は有明高専同窓会に提供していただき、有明高専生が主体になって、有明高専の最新ニュースや出来事を分かりやすく伝える15分の番組です。現在は11名の学生達がパーソナリティーとして活躍しています。

番組は、毎週1回のミーティングで最新ニュースや出来事を出し合い、放送と実際の行事の時期が合うように構成を考えていきます。インタビューやイングリッシュコーナーがあり、学生パーソナリティーが自分達で収録し、教職員が編集をして番組が完成します。

「部活動でも愛好会でもない学生有志の集まり」ですが、有明高専生の日常を音で感じてもらえるように、これからも頑張っていけます！ぜひとも、第1、第3金曜日の19:00からちょっとだけ聴いてみてくださいね。



毎週のミーティングで番組の構成や収録スケジュールを決めます！

入試広報関係

【オープンキャンパス】

入試広報室

8月5日（土）・10月15日（日）にオープンキャンパスを開催し、合計約420組の中学3年生親子に参加を頂きました。感染症対策も意識して毎年より良い実施方法を検討しており、今年度は昨年度から形を変えて全コースを見学・体験するように企画しました。午前の部・午後の部という半日のツアー形式で行うため、各コースでの見学は短い時間となってしまいましたが、受験生に有明高専の魅力を直接伝えることができ、良い機会となりました。参加者のうち希望者は全コースを回った後、一般教育科の模擬授業（数学・英語・理科・国語／社会）を受けたり、入試広報室教職員・学生会・寮務主事室が待機する質問コーナーで相談したり、帰り際には皆さん満足そうな表情が見られました。

会場



Eコース



C・Lコース



Mコース



Iコース



Aコース



模擬授業



質問コーナー



産学官連携関係

地域教育支援事業

下表の通り、本年度も連携協力支援事業として、大牟田市、荒尾市の小学校、中学校、特別支援学校の児童、生徒達への出前授業、その先生方を対象とした教員教育講座を実施しております。

またその他依頼事業として、大牟田市石炭産業科学館での高専ロボット体験を始めとする数々のイベントに参加しております。

先生方を始め参加及びご協力いただきましたすべての方々に、心より深く感謝申し上げます。

No.	学校名・主催	講座名	開催日
-----	--------	-----	-----

1.<小中学校対象> (連携協力推進会議事業)

【荒尾市教育委員会】

1	荒尾第一小学校	ジャイロ効果の逆立ち君を作ろう！	7月11日 (火)
2	荒尾第一小学校	水の科学	9月12日 (火)

2.<小中学校教職員対象> (連携協力推進会議事業)

1	大牟田市中学校・特別支援 学校教育講座 (技術科)	情報教育 教育講座 「授業におけるタブレットの活用例について」	7月26日 (水)
---	------------------------------	------------------------------------	-----------

3.<その他依頼事業>

1	大牟田市石炭産業科学館	大牟田市石炭産業科学館での高専ロボット体験	5月5日 (金)
2	おもしろサイエンス わくわく実験講座2023	ジャイロ効果の逆立ち君を作ろう！	5月20日 (土)
3	大牟田市市民協働部生涯 学習課次世代育成担当	スライム作り	7月29日 (土)
4	大牟田市 石炭産業科学館	大牟田市石炭産業科学館での三池炭鉱で使用された 「電気機関車」の乗れるモデル運転展示	7月29日 (土)

4.<本校主催事業>

1	(共催) 北九州市立大学PARKS運営事務局 TEPIA先端技術館	ものづくり体験教室	8月22日 (火)
---	---	-----------	-----------



大牟田市石炭産業科学館出前授業



荒尾第一小学校出前授業



ものづくり体験授業

学生会だより

クラスマッチ

5月19日に春季クラスマッチが開催されました。天気は生憎の雨だったので雨天時競技での開催となりました。

バレーボール、eスポーツ、ハチャメチャ卓球などが開催され、どの競技も大変盛り上がりしました。特に新競技のダーツは、実際に学生会役員でテストプレイを行い試行錯誤しながらルールを考え無事に成功させることが出来ました。

学生全員の協力のおかげでクラスマッチの運営がスムーズにできました。次のクラスマッチからは後輩たちの運営となりますが、無事に成功することを祈っています。皆さんもご協力をよろしくお願い致します！

最優秀クラス	4 M	
優秀クラス	5 A	
敢闘賞クラス	1-5	
	優勝	MVP
バレーボール	4 M	松田 健吾
ダーツ	3 E	江崎 大翔
ハチャメチャ卓球	2-3	堀内 空
eスポーツ	5 I	宮尾 宗汰



地区高専体育大会

陸上競技

男子団体：1位
男子4×100m：2位
男子400m：3位 高口 晶平
男子800m：3位 有田 晴紀
男子1500m：1位 有田 晴紀
男子5000m：1位 浦崎 華瑠／2位 八尋 蓮斗
男子100mH：3位 迫田 堯能
男子400mH：2位 高口 晶平
男子3000mSC：1位 八尋 蓮斗／2位 浦崎 華瑠／3位 案浦 広修
男子砲丸投：1位 末次 太暉／3位 吉谷 祐一
男子やり投：3位 本梅 颯人
女子団体：2位
女子4×100m：3位
女子砲丸投：1位 緒方 日菜／2位 古野 陽向／3位 木下 聖奈
女子円盤投：1位 緒方 日菜／3位 岡野 葉月
女子やり投：2位 木下 聖奈／3位 内田 結椰

ソフトテニス

男子ダブルス：2位 足達 汰一・杉島 大輝／3位 酒井 英吉・川端 建吾
女子ダブルス：2位 石瀧 希実・小林 花歩

バドミントン

女子団体戦：1位
女子シングルス：1位 江口 礼／2位 中田 涼香
女子ダブルス：2位 中田 涼香・富田 一夏

水 泳

女子50m自由形：2位 岩切 悠
女子100m自由形：2位 岩切 悠
女子100mバタフライ：2位 伊藤 由梨花
男子400mメドレーリレー：2位
男子400mフリーリレー：2位
男子100m平泳ぎ：2位 藤末 永久／3位 猿渡 真尋
男子200m平泳ぎ：1位 猿渡 真尋
2位 藤末 永久
男子200m背泳ぎ：2位 田代 創志
男子50m自由形：2位 石山 倫平
男子100m自由形：2位 石山 倫平
男子200m自由形：2位 廣瀬 大翔

ハンドボール

男子：3位

バスケットボール

男子：2位 女子：1位

卓 球

団体戦：3位
男子シングルス：3位 江崎 大翔
男子ダブルス：3位 若月 天晴・大沢 舞輝



卓球競技

剣 道

女子団体戦：2位
男子個人戦：2位 大崎 奎太朗
女子個人戦：3位 江口 日向子



男子バスケットボール準優勝

柔 道

男子無差別級：1位 竹森 洸太

バレーボール

男子：2位

テニス

団体戦：1位
男子シングルス：1位 田中 晴稀／2位 迫田 堯能
男子ダブルス：1位 迫田 堯能・迫田 昂能／2位 田中 晴稀・大古閑 雅智
女子ダブルス：2位 藤井 綺凜・福島 愛美



テニス競技

弓 道

男子個人戦：5位 新堀 優志
女子個人戦：5位 戸田 紗彩

全国高専体育大会

陸上競技

男子4×100m：予選敗退
男子400m：予選敗退 高口 晶平
男子800m：4位 有田 晴紀
男子1500m：3位 有田 晴紀
男子5000m：2位 浦崎 華瑠／5位 八尋 蓮斗
男子3000mSC：1位 浦崎 華瑠／2位 八尋 蓮斗
男子砲丸投：17位 末次 太暉／22位 吉谷 祐一
男子やり投：16位 本梅 颯人
女子4×100m：予選敗退
女子砲丸投：10位 緒方 日菜／12位 古野 陽向

ソフトテニス

男子ダブルス：2回戦敗退 酒井 英吉・川端 建吾／1回戦敗退 足達 汰一・杉島 大輝
女子ダブルス：1回戦敗退 石瀧 希実・小林 花歩

バドミントン

女子団体戦：3位
女子シングルス：3位 中田 涼香／1回戦敗退 江口 礼
女子ダブルス：3位 中田 涼香・富田 一夏

水泳

女子50m自由形：予選敗退 岩切 悠
女子100m自由形：予選敗退 岩切 悠
女子100mバタフライ：予選敗退 伊藤 由梨花
男子400mメドレーリレー：7位
男子400mフリーリレー：予選敗退
男子100m平泳ぎ：予選敗退 猿渡 真尋・藤末 永久
男子200m平泳ぎ：予選敗退 猿渡 真尋・藤末 永久
男子200m背泳ぎ：6位 田代 創志
男子50m自由形：予選敗退 石山 倫平
男子100m自由形：予選敗退 石山 倫平
男子200m自由形：予選敗退 廣瀬 大翔

バスケットボール

男子：2位 女子：1回戦敗退

剣道

男子個人戦：3位 大崎 奎太郎 女子個人戦：1回戦敗退 江口 日向子

柔道

男子無差別級：2回戦敗退 竹森 洸太

テニス

男子団体戦：1回戦敗退
男子シングルス：1回戦敗退 迫田 堯能・田中 晴稀
男子ダブルス：1回戦敗退 田中 晴稀・大古閑 雅智
迫田 堯能・迫田 昂能
女子ダブルス：1回戦敗退 藤井 綺凜・福島 愛美

弓道

男子個人戦：予選敗退 新堀 優志 女子個人戦：予選敗退 戸田 沙彩



エコラン・花の甲子園

HONDAエコマイレージチャレンジ2023九州大会

メカニクスコース 4年 小北 凌

私たち自動車工学研究部は8月6日(日)に開催された「HONDAエコマイレージチャレンジ2023九州大会」に出場しました。この大会は市販の4サイクル50ccミニバイクのエンジンを改良し燃費を競う競技です。例年私たちの部は自動車の部門と二輪車の部門にそれぞれ1チームずつで出場しており、私は自動車の部門のチームで出場しました。自動車部門に出場した私たちの今年の目標は、過去の有明の先輩方や高専生のこれまでの記録を上回る2000km/Lです。その目標を達成するためにシュミレーションを重ね燃料の噴射量を調整したり電装品を交換したりして燃費向上に取り組みました。

しかし、大会直前でエンジンが故障したり、本番の走行でも電装系やバッテリーあがりなどのトラブルが生じてしまい出場した2台とも完走することができず今大会では大変悔しい思いをしました。

来年の大会では2000km/Lを達成するために、これから可変バルブ機構エンジンの作成と転がり抵抗の削減を主に取り組み、来年は良い報告ができるよう頑張ります。



Ikenobo 花の甲子園2023九州北大会 3位入賞!

環境生命コース 5年 豊嶋 咲良

華道同好会は、9月9日(土)にアクロス福岡で開催された『Ikenobo花の甲子園2023九州北大会』に出場し、3位入賞を果たしました。この大会は、生け花を学ぶ3人が1チームとなり、1人1作品を制作し、プレゼンを行う公開コンクールです。有明高専では、華道同好会の5年生3人が出場しました。

大会のルールとして、生け込み時間は30分、使用する花材は大会当日まで教えてもらえません。練習では、生け込み時間の短さに苦戦しましたし、大会でどんな花材が渡されるのか不安になっていました。しかし、大会本番ではチームで声を掛け合い、渡された花材をバランスよく生けるように相談することで、時間内にうまく生けることができました。

今年の大会の発表課題は「伝統」でした。私たちのチームは「華道の伝統」について表現しました。具体的には、古来の華道、現代の華道、未来の華道という3つのテーマでそれぞれ作品を生けました。そして、3分間のプレゼンでは、古くから守り継承されている伝統が現代へ変化していき、未来へ、そして世界へ発展してほしいことを話しました。また、当日は浴衣や民族衣装を着ることで日本やマレーシアの伝統を視覚的に伝え、プレゼンではパネルを使用するなど作品の意図が伝わりやすくなる工夫をしました。

日々のお稽古と創造力が必要となった大会ですが、顧問の嘉藤直子先生、ご教授いただいた華道の前川先生のご協力のもと、価値のある大会を行うことができました。



寮だより

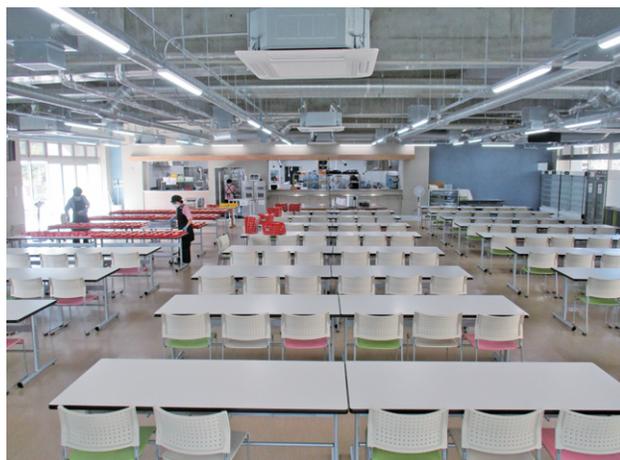
女子寮（旧桜棟）と食堂の裏山が危険災害地域に指定されたことから、女子寮と食堂、男子浴室の移転が決まった。それに合わせて、银杏棟の改修、青葉棟と紅葉棟の合築棟の新設が決まった。

女子寮は令和4年3月に完成し、昨年度から使用している。食堂と男子浴室は令和5年3月に完成した。银杏棟の改修も同じ時期に終了し、今年度から使用している。

現在、来年3月に完成予定の合築棟の建設が進行中である。合築棟の建設のために今年6月に青葉棟が解体され、来年2月に紅葉棟が解体される。



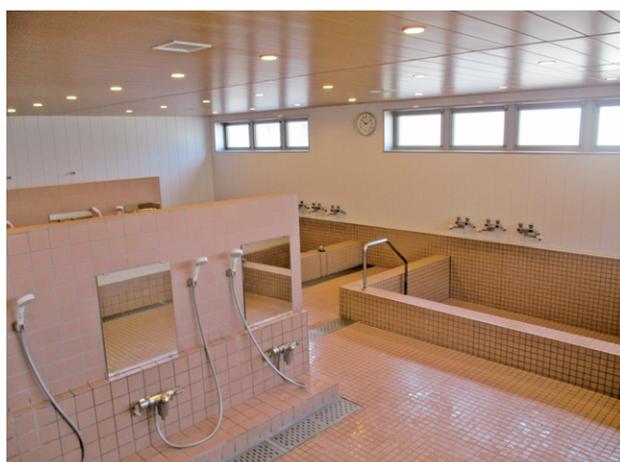
桜棟



新食堂



银杏棟（改修後）



男子風呂場



紅葉棟

国際交流関係 「小さな勇気で未来を変えよう！」

国際交流室長 山口 英一

現在の国際交流の取組

2020年3月、シンガポールとフランスへの学生研修が新型コロナウイルス感染症拡大のために出発直前に中止せざるを得ない状況になって以降の3年間は、有明高専の国際交流にとって非常に困難な時期でした。しかし、その状況下でもオンラインによる交流・研究発表への参加などを続け、ようやく今年1月にはスウェーデンNTI校から学生5名の受入、3月にはシンガポール・ポリテクニクへの13名の学生派遣を実施できました。さらに「トビタテ留学JAPAN高校生コース」に採択され出発を1年延期していた2名をイギリスとオーストラリアへ約1ヶ月派遣し、本格的な国際交流の再スタートとなりました。

ここではR5年度に行った、そして行う予定の派遣・受入についてご紹介します。多くの学生が国際的な取組に興味を持って、積極的に参加してくれることを期待しています。

<インターンシップ受入>

4月より3ヶ月間、応用化学コースおよび環境生命コースでのアカデミック・インターンシップ生としてフランス、トゥールーズ市の工業系大学IUTからクエンティンさんを受け入れました。滞在中には1年生合同LHR他、多くの授業で、彼の大学のあるフランスと故郷ドイツの文化理解に関するプレゼンテーションを実施してくれました。



<海外研修（グローバルエンジニア育成事業）>

高専機構から20校が採択され、令和元年度から5年間で実施している本事業もいよいよ最終年度を迎えました。有明高専では「海外研修をスプリングボードとした低学年次におけるグローバルエンジニア養成プログラム」と題して、2年生の夏に全員参加の「シンガポール海外研修」を準備してきましたが、ついに今年は2年生209名と1年延期していた3年生205名の合計414名が参加して実施できました。

2年生は8月29日(火)から(一部の学生は28日(月)夕方から)3泊5日、3年生はフライトの都合で8月31日(木)から4泊6日の日程でした。施設見学だけでなく、事前に各班で立てた計画に従って現地大学生と一緒に市内を回り一日を過ごすプログラムなど、英語をツールとして学び、日本の日常と異なる文化を体験する研修でした。この海外研修は、学生たちが世界とつながる技術者へ成長するためのスプリングボードとして来年度以降も継続し、2年後には、2年生以上のほぼすべての有明高専生が海外活動を経験したことになります。

<トビタテ！留学JAPAN>

文部科学省による「トビタテ！留学JAPAN（第2ステージ）新・日本代表プログラム（高校生等対象第8期）」に今年度は本校から2名の学生が採択されました。一昨年度（昨年度はコロナ禍で募集中止）までの「トビタテ高校生コース」では、有明高専から5年連続合計10名の学生が採択されており、福岡県内で3位、全国高専では7位の人数でした。

今年度採択された3年生建築コースの船原拓朗さんは、アメリカ、オレゴン州ポートランド市で先進的な街づくりについて調査し、そこで学んだことを自分の地元の街づくりに還元したいという計画です。一方、2年生の松下溜梨さんは、自分の地元にある原子力発電に関して理解を深めるために、カナダのオンタリオ州を選び、現地の大学で原子力の研究をされている教授やカナダ国立原子力研究所(CNL)にて最新の研究について話を聞くことで、地元の原子力発電に関しての自分自身の見解を持ちたいという内容です。2人は来年2-3月に、それぞれの派遣先を訪問する予定です。



<国際学会での発表>

9月にインドネシアのハサヌッディン大学で開催された大学生・大学院生を対象とする「ICAST2023 (The 18th International Student Conference on Advanced Science and Technology)」で5年エネルギーコース田中修斗さんが英語による発表を行いました。またマレーシアのペトロナス工科大学 (UTP) で開催された「ISIE2023 (International Symposium on Innovative Engineering 2023)」における英語口頭発表では、本科5年エネルギーコース野田 浩矢さんが第2位、専攻科1年生産情報システム工学専攻福田 旺土さんが第3位で表彰されました。

<本年度後期の予定>

後期には以下の事業を計画しています。それぞれについてメールなどで告知・募集を行います。受入学生のサポートなどもありますので、学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。

2023年度後期・国際交流事業リスト

実施時期		対象学年						
		1	2	3	4	5	6	7
11月	(説明会) トビタテ留学JAPAN (高校生コース、大学生コース)							
12月	SP学生交流から学生受入 (10名)							
1月	スウェーデンNTI校から学生受入 (4名)							
2~3月	海外インターンシップ派遣 (フランス、ツールーズ)							
3月	スウェーデンNTI校へ学生派遣 (10名)							
3月	4ヶ国の学生とグローバルキャンプ@久留米に学生派遣 (5名)							

インターンシップ報告

フジタでのインターンシップを通して

建築コース 4年 高嶋 蘭

私は施工管理の仕事について詳しく知りたいと思い、総合建設企業である株式会社フジタへ10日間のインターンシップに参加しました。実際に現場で行ったことは、朝礼や昼礼への参加、定例会議への参加、杭工事の工事写真撮影など現場で施工管理として働く人達が普段していることをそのまま体験することが出来ました。

現場以外では、九州支店にてOB.OGと話したり、長崎の現場へ訪れ、現地の状況や雰囲気の違いを比較したり、実際にフジタが携わった長崎の放送局の内覧などなかなか経験することが出来ることができました。また、下請け会社の方とも積極的にコミュニケーションを取り、仕事をしている気持ちを味わいました。

実際に施工管理の仕事を経験してみて、きついこともありました。やりがいや楽しさを感じることも多くありました。まだまだ未熟だと感じることもありましたが、責任感と達成感を感じることができる施工管理の魅力を知ることができたインターンシップとなりました。



工事写真を撮影中の筆者

大阪シーリング印刷株式会社での実習

環境生命コース 4年 坂上 結泉

私は大阪シーリング印刷株式会社のインターンに参加し、福岡・門司の2工場で計5日間の実習を行いました。大阪シーリング印刷株式会社はシールやラベル、フィルム製品の製造を手掛ける会社です。福岡工場では品質管理課と工務課、門司工場では受注・生産・品質管理課にお世話になり、工場見学を中心に検品や作業日程作成、印刷機の操作などを体験しました。

社員の方々の話を聞く中で皆さんがよくおっしゃっていた言葉が「責任」です。人々が安全に暮らすために企業もつ社会的責任や、顧客の要望に応え、高い品質を保つために作業員一人一人がもつ責任感など、インターンを通して社会人として働く姿勢を学ぶことができました。エアージャワーやコロコロ、手洗い消毒などの場内ルールを全員が徹底していることから仕事に対する向き合い方が伝わると感じました。自分の仕事に責任と誇りを持つ姿を見て、自分の目指す社会人像が固まってきたと思います。懇親会では高専OBの方とも話すことができ、就職後の自分について考える良い機会となりました。



インターンシップを終えて

エネルギーコース 4年 浅名 咲月

私はサントリーのインターンシップに参加しました。5日間、働くイメージや姿勢、やりがいについて社員の方から沢山学んで帰りたいと思い、工場見学の際は自発的に質問したり、昼食の時間も直接社員の方に話を伺ったりして積極果敢に活動に取り組みました。その中で、どの工場でも社員の方一人ひとりが自分の仕事に誇りを持って、サントリーの企業理念である「やってみなはれ」の精神で前向きに仕事をされている姿が強く印象に残りました。このインターンシップを通して、働くということ、ものづくりに携わる楽しさや責任を肌で感じ、自分なりに技術者としての将来の理想像をイメージすることが出来ました。また、他の高専生と共に過ごし、グループワークなどを行った為、現在の自分のコミュニケーション能力や知識量の不足を痛感しました。これらを含めて、自分の目指す技術者になるために、学生のうちにすべき努力や身につけるべきことを発見することができました。このような貴重な経験をさせていただいたことに感謝しつつ残りの学生生活の過ごし方をよく考えて、全力で頑張っていきたいと思えます。



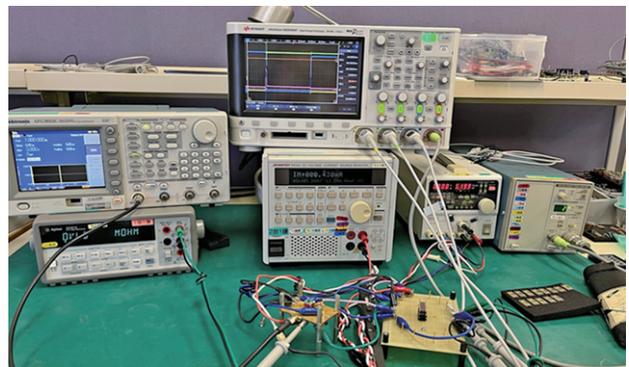
インターンシップを終えて

情報システムコース 4年 宇木 崇馬

私は、日清紡マイクロデバイス株式会社の埼玉にある川越事業所で10日間の実習を行いました。日清紡マイクロデバイスは主に電子デバイス製品事業、マイクロ波製品事業を行っている会社です。

実習では、初日は会社内の見学や会社の概要、オペアンプなどの説明を受けました。2日目から7日目までは、オペアンプ高精度化の基礎研究の補助、評価用サンプルの作成を行いました。8日目は会社に提出する報告書の作成や人事とのジョブマッチを行いました。9日目から10日目まではヘッドホンアンプの作成、作成したヘッドホンアンプの測定をおこないました。

今回のインターンを通して、技術や知識がついたことはもちろん、実際に働いている人がどのようなマインドで働いているのかなど会社の大まかな雰囲気などを知ることができとても良い経験になりました。自分自身もあと数年で社会に出て働いていかなければならないので今回の実習を通して学んだコミュニケーションや仕事に対する熱意などを生かしていけるよう頑張りたいと思います。



オペアンプの実験の様子

インターンシップを終えて

メカニクスコース 4年 植嶋 晴奏

私は、神奈川県厚木市にあるマキノジェイ株式会社に5日間行きました。インターンシップでは、各部署の仕事内容の説明を受けた後、簡易的な業務体験をグループで行いました。そして3、4日目には、会社案内や自社工場の見学をさせて頂きました。最後のグループワークでは、シミュレーションソフトを用いて加工手順のプログラミングを行い、指定の形状の工作物をマシニングセンタを使って、完成させました。

私がインターンシップを通して、感じたことは、社員の方々が意見交換をしやすい雰囲気作りをされているということでした。業務体験には、グループの中で意見を出し合い発表するという形で課題に取り組み、学生一人ひとりからの意見を聞くという雰囲気がありました。また、事務所がひとつのフロアしかなく、部署同士の壁がなくいつでも意見交換しやすい環境が整っていました。親睦会や最終日に行われた面談では、一人一人の質問に丁寧に答えて頂きました。外からは知ることが出来ないような会社内の部署の繋がり、お客様との繋がりを知ることが出来て、働くことのやり甲斐を改めて知ることができて良かったです。



マシニングセンターの操作実習中の筆者



実習の中で作成した金属ストラップ

インターンシップを終えて

建築学専攻 1年 泉 裕介

私は、さくら構造株式会社のインターンシップに参加しました。さくら構造は北海道に本社を置く構造設計事務所です。東京や大阪にも事務所を構えており、今回のインターンでは大阪事務所に伺いました。インターン中は、主に図面の作成を行いました。意匠設計者が描いた図面（意匠図）を見ながら、それをもとに構造図を描く作業です。このとき、意匠図を見て実際の建物を3Dでイメージし、それをさらに2Dの図面に落とし込む能力が必要なのですが、これが難しく苦労しました。また、建物の壁量計算も行いました。壁量計算とは、建物が安全に建つために十分な量の壁が確保されているかを確認する作業です。過去に、授業でも行いましたが、今回はそのときよりも高い建物を対象に行いました。授業で習ったことの復習をしながら、さらに発展的な内容に取り組むことができました。今回のインターンを通して、図面から建物を立体的にイメージすることの重要性を学びました。これからは、建築に触れる機会を一層増やして、この力を養っていきたいと考えています。



作成した構造図

インターンシップを終えて

応用物質工学専攻 1年 豊里 心

私は産業技術総合研究所・九州センター・センシングマテリアル研究チームで研修を行いました。このチームではオンラインワンのセンサ材料の開発を目指して材料探索、センサ素子とその評価解析技術の開発が行われています。研修ではスマートフォンにも使用される高周波フィルタの材料として産総研が新たに開発した窒化アルミニウムスカンジウム圧電薄膜の圧電性能と結晶性の評価を行いました。写真は結晶性の評価に用いたX線回折装置です。この装置は特別研究でも使用していますが、今回は私が普段測定している粉末図形の測定方法とは異なる方法で測定し、結晶構造解析について学び直す良い機会となりました。また、解析では膨大なデータの整理に苦戦したこと、これらの知識・経験が自身に不足していることを強く実感し、今後の研究活動への良い刺激となったと思います。また、チームの皆さんとお話する中で、研究テーマには個人ではなくチームで取り組むことから、自身にできることや考えを積極的に主張し、議論することが限られた時間の中で効率良く研究を進める上で重要であることを学びました。



圧電薄膜評価に用いたX線回折装置

インターンシップを終えて

生産情報システム工学専攻 1年 木村 隆暉

私は、凸版印刷株式会社が大牟田市に設立したシステム開発拠点「ICT KOBŌ® ARIAKE」でインターンシップに参加し、地域課題の解決を目的としたDXソリューション事業に取り組みました。大牟田市は甚大なインシシの農作物被害に見舞われていることをご存知ですか？私たちは1週間という短い期間で害獣駆除のシステム設計・技術の提供を実習として行いました。

インターンシップでは主にセンサーを活用した罠の設計に力を注ぎました。凸版印刷は遠隔でデータを送受信、制御するための技術を開発されています。高齢化に伴う罠の管理を解消するためセンサーによってインシシを検知しデータを転送、通知できるアプリも含めたシステムを考案しました。

このインターンシップを通して、チームで共同開発するスキルや農家や市役所の方からヒアリングを行い、課題に対して適切な調査・機能を追加することができました。とても、学校では味わえないような実践的かつ達成感のある実習となりました。



インターンシップ参加者と（後列左端が筆者）